

第2章 良好な景観の形成に関する方針

2-1 計画のテーマと方針

1 景観形成の基本方針の構成について

★ 景観づくりのテーマ

なつかしさと未来が行き交う 美しい山里文化の風景づくり



4 ページ

★ 村全体における良好な景観形成の方針

- 方針1 村独自の農山村景観を整備・保全していきます
- 方針2 ながめの良い景観を保全していきます
- 方針3 旧三国街道を整備・保全していきます
- 方針4 美しい星空(そら)を保全していきます

村全体の
方針ね。



5 ページ

★ 類型別方針

- 土地利用(面) 「農村地区」「農山村地区」「住宅地区」
「農地地区」「山林地区」「牧場・ゴルフ場」
- 軸(線) 「道路軸」「河川軸」
- 拠点(点) 「ゲート、結節点、大規模施設、眺望点など」

地区ごとに考
えるのね。



2 景観づくりのテーマ

本計画のテーマは、往事のなつかしさだけでなく、高山村の未来の姿を表すものです。

高山村の山里文化の風景は、村民の共有財産であるという認識をもとに、美しい山里文化の風景づくりを推進していきます。

なつかしさと未来が行き交う 美しい山里文化の風景づくり



2 村全体における良好な景観形成の方針

方針1 村独自の農山村景観を整備・保全していきます

高山村独自の農山村景観は、豊かな自然と村民の生業とが有機的に連携し、長い時間を経て形成されたものです。

したがって、村の土地利用計画の検討、建造物の立地、道路、河川や水路など農林業基盤整備等を行う際には、村民のふれあいの場、ゴミ置き場、動植物の生息域等に配慮して、村独自の農山村景観を保全します。

方針2 ながめの良い景観を保全していきます

中山峠から村を一望する眺望や、五領などから三並山を望む眺望は、変化に富んだ地形とスケール感によって形成されているため、村民にとって自慢できるスポットです。また、観光客にとっても大変印象深いものです。

したがって、このような場所、道路沿道では、建築物、工作物、屋外広告物等の規制・誘導方策だけでなく、花植え活動等を推進して、ながめの良い景観を保全します。

方針3 旧三国街道を整備・保全していきます

日本ロマンチック街道と旧三国街道が交差する周辺は、ロマンと歴史の交差するまちなみとなっており、神社、石積み、水路といった工作物だけでなく、祭り、伝統芸能等が一体となって歴史的な風致・景観を形成しています。

したがって、このエリアでは、建築物、工作物、屋外広告物等に対する規制・誘導方策だけでなく、土地利用の誘導、無電柱化、象徴的な樹木、緑地の確保、文化財や伝統芸能の保全も複合的に検討しながら整備・保全をはかります。

方針4 美しい星空（そら）を保全していきます

高山村では、いたるところで美しい星空を眺めることができます。このことに対して村では、光環境条例を施行し、村の財産として保全をはかっているところです。

したがって、この計画では、条例で規定すること以外についての規制・誘導方策を検討し、より美しい星空を保全します。

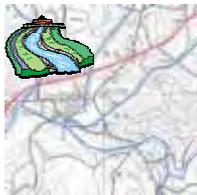


2-2 景観類型

1 景観類型について

高山村の景観資源について、景観構造別に整理すると、土地利用（面的要素）、軸（線的要素）、拠点（点的要素）に区分されます。

景観資源を踏まえた景観類型

景観類型		景観類型の例
土地利用 (面)	農村地区	 <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; display: inline-block;">住居のまとまり</div>
	農山村地区	
	住宅地区	
	農地地区	 <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; display: inline-block;">農地のまとまり</div>
	山林地区	
	牧場・ゴルフ場地区	
軸 (線)	道路軸	 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">骨格となる道路</div>
	河川軸	 <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">骨格となる河川</div>
拠点 (点)	ゲート、結節点、大規模施設、眺望点など	 <div style="border: 1px solid purple; padding: 2px; display: inline-block;">大規模施設や眺望点などの見晴らし</div>

2-3 景観形成方針

1 類型別方針

類型別方針の構成と、村内の景観資源の分類との関係は以下のようになります。
次ページに類型別方針を示します。

類型別方針と景観資源の関係

景観類型 (解説)			景観資源の分類A				
			自然	歴史文化的資源	生活	業務、文教施設	その他(ゲート、心象風景)
土地利用 (面)	1	農村地区 農地の割合が多く その中に集落が形成されている	田畑眺望	祭り 伝統芸能	集落		
	2	農山村地区 農地と山地が混在し その中に集落が形成されている	田畑 果樹園 眺望	伝統芸能	集落		
	3	住宅地区 住宅地の割合が多い		宿場町	集落		
	4	農地地区 農地の割合が多い	田畑 果樹園 眺望		沿道景観		
	5	山林地区 山林の割合が多い	森林 星空				
	6	牧場・ゴルフ場地区 ゴルフ場、牧場	眺望			牧場 ゴルフ場	
軸 (線)	7	道路軸 骨格、線的な形状 によって意識されるもの		歴史街道	道路		
	8	河川軸 骨格、線的な形状 によって意識されるもの	河川		河川		
拠点 (点)	9	ゲート、結 節点、大規模施設、眺 望点など 人、車などの出入口、 交差する場所。高い位置、 または目立つ色彩・形状を なし、ランドマークになるもの。	眺望 樹木	文化財	交差点	公共施設 観光施設	峠(ゲート)



類型別方針 1

「農村地区」

● 村における農村地区

村における伝統的な農村文化は、里山の麓や水辺に形成され、水田の開発に伴い平地部に拡大してきました。

集落は、生活の舞台（場）であるとともに村の美しい景観を形成する要素になっています。

村民アンケートでは、このような人と自然が共生する景観をこのまま保ってほしいという声が多くなっています。



● 類型別方針

- ・ 村における農村文化を保全するため、適正な土地利用をはかるとともに、建築物等の形態・意匠等の規制・誘導をはかります。
- ・ 道路、水路等の社会基盤施設の整備にあたっては、村民のふれあいの場等、農村文化を保全できる形態・意匠等を誘導します。
- ・ 集落内の水辺は、子供等が遊べる親水性が高いものにしていきます。



五領地区



火之口地区



農村風景（大正期の関田地区）



北之谷地区

類型別方針 2

「農山村地区」

● 村における農山村地区

村における伝統的な農村文化は、山里の麓や水辺に形成され、水田の開発に伴い平地部に拡大してきました。

この地区の性格は、前頁の農村地区と同様ですが、森林地の割合が高くなっています。

したがって、長年の時を経て山林を切り拓き農地や道を整備したものと推察されます。

集落は、生活の舞台（場）であるとともに村の美しい景観を形成する要素になっています。



● 類型別方針

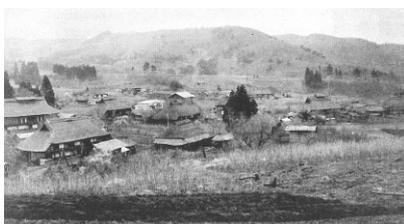
- ・村における農山村文化を保全するため、適正な土地利用をはかるとともに、建築物等の形態・意匠等の規制・誘導をはかります。
- ・人の営みと、農地・森林地における自然の営みが共存できるような景観づくりをすすめます。
- ・道路、水路等の社会基盤施設の整備にあたっては、安全性を確保しつつ、生態系等に配慮した形態・意匠等を誘導します。



五領地区



関田地区



農山村風景（昭和初期の役原地区）

類型別方針3

「住宅地区」

● 村における住宅地区

この地区は、判形を中心に官公庁、学校、福祉施設等などが集積し、その周辺に住宅が密集しており、村の中心市街地になっています。

旧三国街道沿いは、古くからの宿場町で、住宅等の建物が密集しており、当時の面影が現在も残っています。

したがって、日常生活の利便性を確保しつつも、観光振興の立場で景観整備に取り組む必要がある地区です。



● 類型別方針

- ・ 役場周辺は、中心市街地としてふさわしい景観整備をはかります。
- ・ 旧三国街道沿道は、歴史的な資源を活かした景観を整備・保全するため、適正な土地利用をはかるとともに、建築物等の形態・意匠等の規制・誘導をはかります。
- ・ 旧三国街道沿道は、電柱等の無電柱化を推進します。
- ・ 地域や家庭での緑化を推進します。
- ・ ゴミ置き場（集積場）の景観対策をはかるため、地域や団体の活動を支援します。



新田地区



新田宿（大正期の新田宿）

類型別方針 4

「農地地区」

● 村における農地地区

この地区の多くが農業振興地域であることから、優良な農地が広がっています。そのため、日本ロマンチック街道（国道145号）や、旧三国街道（主要地方道渋川下新田線）沿道の田園風景は、良好な景観が形成されています。

しかし、近年は農地の転用や、担い手不足による耕作放棄地が増加しており、景観を阻害する要因となっています。



● 類型別方針

- ・ 現在（いま）ある田園風景を保全します。
- ・ 日本ロマンチック街道と旧三国街道からの眺望景観を保全します。
- ・ 道路沿道空間は、緑化と美化を推進し、花植え、除草等の活動を支援します。



原地区



五領地区



五領地区



五領地区

類型別方針5

「山林地区」

● 村における山林地区

村における山林の面積は、村全体の70%を超えています。森林整備計画によれば、その多くが水土保持林になっています。

また、林業は、古くは中山村、尻高村の頃より生業の1つになっています。

しかし、近年は、林業就業者数が少ないだけでなく、担い手不足の問題があり、山林が荒廃しています。



● 類型別方針

- ・ 遠景要素としての山の美しさを保全するため、建築物等の形態・意匠等の規制・誘導をはかります。
- ・ また、森林地として適正な土地利用の誘導をはかるとともに開発を抑制します。
- ・ 動植物等にも配慮し、自然と調和した景観づくりにつとめます。



茶屋ヶ松地区



茶屋ヶ松地区



茶屋ヶ松地区



北山

類型別方針6

「牧場・ゴルフ場地区」

● 村における牧場・ゴルフ場地区

牧場やゴルフ場は、多くの観光客が訪れており、村の観光振興を担っています。

これらを景観として捉えると、広大な面積を有しており遠景要素として影響が大きいものと考えられます。

したがって、これら施設は、継続的な運営によって、緑地を確保する必要があります。



● 類型別方針

- ・ 遠景要素としての山の美しさを保全するため、建築物等の形態・意匠等の規制・誘導をはかります。
- ・ 大規模な開発行為、土砂や鉱物の採掘、産業廃棄物の堆積等を抑制します。
- ・ 「たかやま高原牧場」周辺の森林は、共生林として保全・整備をはかります。



たかやま高原牧場



たかやま高原牧場



ゴルフ場



たかやま高原牧場（大正初期）

類型別方針7

「道路軸」

● 村における道路軸

村の主要な道路軸は、日本ロマンチック街道（国道145号）や、旧三国街道（主要地方道渋川新田線）です。また、古くから山の麓に沿って村道が整備されています。

これらの沿道では、地形、河川、集落と農地によって、良好な景観が形成されています。良好な農村風景を形成しています。

これらの景観は、豊かさや快適さを感じさせてくれます。



● 類型別方針

- ・道路沿道からのロマンや歴史あふれるすばらしい眺望景観を保全します。
- ・道路沿道の道路附属施設のデザインに配慮するだけでなく、緑化・美化を推進し、きれいな道づくりを推進します。
- ・道路沿道の屋外広告物のデザインに配慮し、きれいな道づくりを推進します。



国道145号線



主要地方道渋川新治線



かつての145号線
(昭和30年 関田地区)



旧三国街道

類型別方針 8

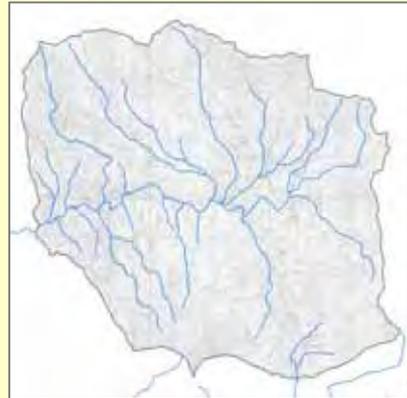
「河川軸」

● 村における河川軸

村の中央を東西に流れる名久田川に対して、南北から支川、小河川が流れ込んでいます。

これらの河川には、古くから集落が存在し、村独自の農村文化が形成されています。

河川は、ホタルなど動植物の生息する場であるとともに、村民の憩いの場になっています。



● 類型別方針

- ・名久田川は、どうどう淵を親水空間としての景観づくりを進めます。
- ・その他の河川についても農山村にふさわしい水辺景観の形成をはかります。
- ・河川の水辺景観づくりを進め、水系ネットワークの整備を進めます。



名久田川（火之口、北之谷周辺）



名久田川（どうどう淵）



五領沢川（五領地区）



名久田川（戸室地区）

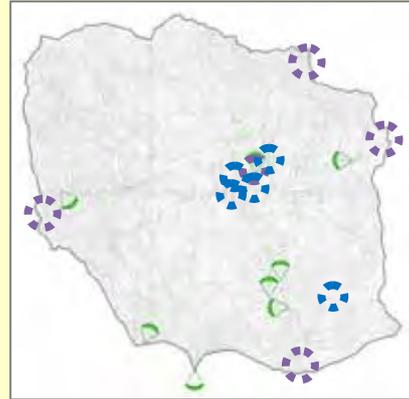
類型別方針9

「拠点（ゲート、結節点、大規模施設、眺望点など）」

● 村における拠点

峠、宿場町などは、古くから人・モノが交流することによって、人の想いも交錯する場ともいえます。また、それらの拠点間にある眺望点は、心象風景に残るので、ある種"ものがたり性"を帯びるものと思われます。

また、県立ぐんま天文台、高山温泉ふれあいプラザは、村外の観光客が多く訪れており、観光拠点として象徴的な形態・意匠になっています。



● 類型別方針

- ・ すばらしい眺望景観を保全します。
- ・ 景観上重要な樹木を整備・保全します。
- ・ 公共性のある建築物等は、周辺の自然景観と調和のとれたデザインにします。



県立ぐんま天文台



高山温泉ふれあいプラザ



国道沿いチェーン着脱所付近からの眺望



レストランプラネットからの眺望